



廿日市市教委だより

～ 子どもたちの笑顔を守るのはわたしたち ～

平成30年
12月27日
第6号

気がつけば、今年もう終わります……。この1年を振り返ると、やり残したこともたくさんあるような気がします。

ならば、今年最後の一日まで、できることを1つでもやろうと思うところです。

先生方、今年も一年ありがとうございました。寒さもますます厳しくなりますが、どうぞご自愛ください。



「平良小学校にはどんなよさがあるの？」～主体的な学びを促す「課題発見・解決学習」～

この問いから、平良小学校第3学年の総合的な学習の時間における調べ学習が始まりました。児童の「なぜ?」「どのように?」という疑問はどんどん広がり、自分達で学校中を歩き回って調査したり、市役所や設計会社に質問をしたり、平良小学校に関わりのある方に取材をしたりするなど、意欲的に活動を行いました。そして11月27日(火)、平良小学校を設計された方や地域の方を招待して発表会を行いました。

他の学校にはない平良小学校の秘密があるんだね。

平良小学校の秘密をもっと調べたい!



1つ1つのつくりこみに意味があったよ。落ち着いて勉強できるように考えてつくられていることが分かったよ。

自分達の学校を大切にしていきたい!

子ども達は、調べ学習を通して、平良小学校のよさや設計者の思いに気付くことができました。そして、「もっと知りたい!」と意欲を高め、今後、自分達がどう行動すべきかを考えていました。

最後に、設計者である久米設計の鈴木さんのお話を聞きました。どんどん出来上がっていく学校の写真が出されるたびに、児童から「おお〜っ!」という歓声や拍手が沸き起こりました。自分達が一生懸命調べてきた学校の完成を、自分事として喜んでいる子ども達の姿でした。今後、さらに意欲を高めて次の学習課題に子ども達が向かうことを期待しています。



校務支援システム集合研修を実施しました

11月28日(水)に大野学園のパソコン教室を会場として、第2回校務支援システム集合研修を実施しました。各校から校務支援システム担当の先生方が出席し、今回は小学校では今年度から、中学校では来年度から実施となる「特別の教科 道徳」の評価の枠を、あゆみと通知表に作成する研修を行いました。

校務支援システムの業者の方を講師として招き、小学校では3学期に使用するあゆみの様式と、中学校では来年度から使用する通知表の様式の完成を目標に作業をしました。出席された先生は、途中、不明なことがあると積極的に質問され、解決していききました。当日は酒井ICT指導員と武居ICT支援員も補助に入り、どの学校も研修時間内に様式を完成させることができました。

この研修の中でも出席者に伝えましたが、今後、**道徳の評価の欄が入った指導要録様式2を使用する**こととなります。中学校で使用する進路用の帳票も変更になります。準備ができれば随時アップロードしていき、アップロード作業が終了したら学校へ連絡します。

本市で校務支援システムを導入して5年がたちます。このシステムを活用することにもう慣れたでしょうか。このシステムは、先生方の校務にかかる作業の効率化と業務の軽減を目標に導入しています。これからも先生方の意見をいただきながら改善していきます。



『LGBT』って知っていますか？



この女性は、ミスユニバースの世界大会にスペイン代表として出場したアンヘラ・ポンセさんです。彼女は体と心の性が一致しないトランスジェンダーで、性別適合手術を受けた女性が同大会に参加するのは初めてということもあり、大きな話題となりました。

広島県の安芸太田町の加計高校では、2019年度の1年生から制服を一新し、男女とも上下がそろったスーツスタイルにし、スカートとズボンを選べるようにするという記事が掲載されました。防寒性ととも、性の多様性に配慮した近年の制服導入の動きに対応したということです。



加計高校の新しい制服

このような話題を耳にするたびに、「LGBT」に対する関心の高まりを感じます。

「LGBT」とは、性自認、性的指向及び性同一性障害などの性的少数者（性的マイノリティー）を限定的に差す言葉です。

日本では、平成15年に「性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律」が成立し、平成27年にこの法律を踏まえて文部科学省より「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童・生徒に対するきめ細やかな対応の実施等について」という通知が出されました。

この教職員向けのリーフレットには、学校における相談体制について様々な事例が書かれています。（一部抜粋）

●教職員の姿勢●

ある児童生徒が、その戸籍上の性別によく見られる服装や髪型等をしていない場合

- ⇒ 性同一性障害等を理由としている可能性を考慮する
- ⇒ 一方的に否定したり揶揄したりしない（心無い言動を慎む）
- ⇒ まずは悩みや不安を聞く姿勢を示すことが重要

●学校生活の各場面での支援●

⇒性同一性障害に係る児童生徒への正しい認識を踏まえた配慮と、他の児童生徒への配慮の均衡をとりながら支援を進めること

学校でもこのような悩みを抱えている子どもがいるかもしれません。まず、私たちが「LGBT」に対する正しい認識を持ち、すべての子どもたちが安心して通える学校づくりを進めていきましょう。

👉つなごろう レインボーツリープロジェクト！

廿日市小学校では、児童の自己有用感を高めることを目的とした「つながり支援」の一環として保健委員会が中心となり、全校挙げて共同制作の作品に取り組みました。

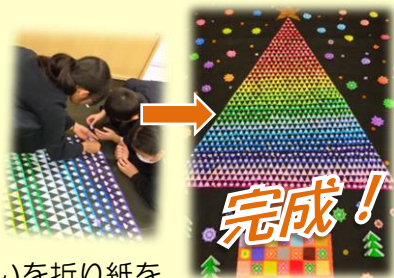
この「つなごろう レインボーツリープロジェクト！」では、「廿日市小学校のみんながつながって、笑顔いっぱい学校をつくっていきましょう！」を合言葉に、保健委員の児童が各教室に行き、折り紙の折り方を伝えていきました。

つなごれ！広がれ！「宝の山」

全校児童732名と教職員を合わせて800枚程度の折り紙パーツを集めると、1本の巨大なツリーが完成しました。縦2メートル×横2.5メートルの黒色の台紙に21色のクラスカラーが美しいレインボーツリー！

一人ひとりの力は小さくても、心をこめて折った1つ1つが集まると、想像を超える素晴らしい作品の完成です。

みんなの思いや願いを折り紙を通して1つにする「レインボーツリー」。また、ここに1つ宝物を見つけました。



完成！



廿深!!『学びの変革』⑥

子供のつまずきの要因に目を向けていますか！①

全ての児童生徒の「主体的な学び」の実現に向けて、学習内容がなかなか定着しない児童生徒へも、適切な指導の手立てを講じていくことが必要です。

県の指定事業である「学力フォローアップ校事業」「学力向上推進地域事業」では、次のようなシートを活用して、児童生徒のつまずきに対する適切な指導を講じるための授業改善の取組を行っています。**つまずきの要因に目を向ける**ことで、児童生徒一人一人が本当に理解できているかを意識した授業に変わります！シートを活用については、下の具体例を参考にしてください。次号では、活用の実際について紹介します。

◆つまずきの要因を探ろう！

<つまずき要因分析シート> (例) 第4学年 算数科「角」

<p><児童の実態></p> <ul style="list-style-type: none"> ・測定したい角を捉え間違えることがある。 ・角を測定する手順などが定着しづらい。 	<p><つまずきの要因></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 角の大きさが表す意味（辺の開き具合）を理解することができない。 ② 角の大きさを実感する経験が乏しく、量感と数値とが関連付けられない。 ③ 長期記憶が不得手で、複数の手順を覚えることが難しい。
<p><指導改善のねらい・手立て></p> <p>① 角、角度の認識 単元の導入で、三角定規の角を利用して辺の開き具合を比べさせ、角の意味や感覚をつかませる。単元を通して、角の開き具合が視覚的に分かる教具（開発した教具）を用いて、辺の開き具合が角の大きさ（角度）であることをつかませる。</p> <p>② 角度の感覚（量感） 開発した教具を使って、「半回転の角は1直角が2つ分であること」や「1回転の角は1直角が4つ分であること」、角の大小関係などをとらえさせる。</p> <p>③ 技能の定着 スモールステップで角の測定方法を確認させ、作業順にナンバリングさせることで、自力解決の手立てを身に付けさせる。</p>	

<シート活用の手順>

- <児童の実態>
日々の授業から、つまずきの実態を具体的に把握する。
- ⇒<つまずきの要因>
何につまずいているのか、考えられるつまずきの要因を丁寧に探る。
- ⇒<指導改善のねらい・手立て>
つまずきの要因に応じた具体的な指導の手立てを考える。